



平成 22 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 宇留嶋 健二  
(JASDAQ・コード6838)  
問合せ先  
役職・氏名 執行役員総務部長 小倉 俊一  
電話 0467-79-7027

## 当社子会社であるバイオエナジー・リソース株式会社による Palm Oil Mill Effluent の共同事業化検討に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 4 月 16 日開催の取締役会において、下記のとおり Palm Oil Mill Effluent の有効利用について、当社子会社バイオエナジー・リソース株式会社と環境対策企業である PT Mutiala Alam Sentosa(以下「MAS 社」という。)と共同で具体的な事業化の検討を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業の目的

本年 2 月に設立した当社子会社バイオエナジー・リソース株式会社において、環境エネルギーの新しい分野として、マレーシア及びインドネシアで大量に生産されるパーム油の製造工程から発生する汚水(POME=Palm Oil Mill Effluent、以下「POME」という。)の有効利用について、この度、当社子会社バイオエナジー・リソース株式会社とインドネシアの企業である MAS 社と共同で事業化の検討を行う事といたします。

POME から発生するメタンガスは、開放型ラグーン(溜池)による処理により、メタンガスの大気への放出が問題視され、その対策について多くの機関、企業が検討を進めてきましたが、画一的かつ効果的な対策が実施されていないのが今日の現状であります。当社子会社バイオエナジー・リソース株式会社では、マレーシア大手パーム油製造企業で既に実証済みである、密閉型タンクでのメタンガス貯留、ガスエンジン発電、パーム油工場への電力供給というソリューションに着目し、事業化に向けて検討を進めて参ります。

#### 2. 事業の内容

当社子会社バイオエナジー・リソース株式会社と共同で事業化の検討を行う MAS 社は、インドネシアにおける事業化を推進するために、機械設備等の主要設備を供給する Multico Global Enviro pte ltd(住所：シンガポール、以下「Multico 社」という。)の支援を受けて設立された環境対策企業であります。同社は、前述のマレーシア大手パーム油製造企業と

実証プロジェクトを成功させております。

この度、MAS 社を通じて Multico 社の技術支援のもと、当社子会社バイオエネルギー・リソース株式会社とインドネシアでの事業展開を進めていく方針であります。

なお、Multico 社は、ガスエンジンを用いたオンサイト発電を業（発電及び売電を営む事業者）としております。

### 3. 今後の見通し等

汚水から発生するメタンガスを効率よく取り出し、メタンガスから作られた電力を供給するという事業コンセプトは、温暖化ガスの放出を抑えると同時に、化石燃料を節約する二つの効果をもたらすこととなり、当社の推進する環境エネルギー事業の方向性と合致しています。

この汚水からの電力供給ソリューション事業は、大きな可能性を持ち合わせていると考え、当社子会社バイオマスエネルギー・リソース株式会社では MAS 社と、今後協議を進め、具体的な事業化の検討を進めて参ります。

以 上